

地方自治に貢献し、旭日双光章受章

山口三喜男さん（脊振町）が、地方自治の発展に功労のある方で顕著な功績を挙げた方を対象とする旭日双光章を受章されました。

山口さんは、昭和28年に脊振村職員として奉職されて以来、総務課長、収入役、脊振村長などを歴任、53年の長きにわたり地方自治に携わり、過疎対策、産業の振興、福祉の充実に貢献されました。

現在は、神崎市社会福祉協議会会長、神埼郡森林組合組合長を務められています。



地方自治に尽力し、旭日単光章受章

故石丸信行さん（千代田町）が、地方自治の発展に功労のある方で顕著な功績を挙げた方を対象とする旭日単光章を受章されました。

また、千代田町の国民健康保険運営協議会会長や体育協会副会長、社会福祉協議会理事としてもご尽力いただきました。

昭和58年の千代田町議会議員

選挙に初当選以来4期14年8月にわたり議員として在職し、文教社会常任委員会副委員長、千代田町監査委員などの要職を歴任されました。特に、合併前の2年8月は、町議会議長として円滑な議会運営にご尽力されました。



県政功労者知事表彰受賞

神崎市より古賀駿さん（神埼町）、甲斐忠義さん（神埼町）が県政功労者知事表彰を受賞されました。

古賀さんは、県内の信用組合の合併を主導し、組合の業績拡大を成し遂げるとともに地域中小企業者に対する経営支援を推進するなど地域金融及び中小企業の振興発展に関する功績が認められ、商工業関係で表彰を受けられました。

平成18年11月には、その道一筋に業務に精励し衆民の模範である方を対象とする黄綬褒章を受章されています。

現在は、佐賀東信用組合会長、佐賀県信用組合協会会長として活躍されています。

甲斐さんは、37年の長きにわたり教師として勤務される中、昭和51年の佐賀国体を機に県内におけるハンドボール競技の普及と指導者・審判員の育成、県の競技レベルを全国レベルまで高めるなど、尽力された功績が認められ、体育・スポーツ関係で表彰を受けられました。

現在も佐賀県ハンドボール協会会長、九州ハンドボール協会副会長として活躍されています。



▶古賀さん



▶甲斐さん

若い経営者の主張 県大会へ出場

7月2日、若い経営者の主張県大会に鶴忠洋さん（神埼町）が三神地区代表として出場されました。鶴さんは、商工会青年部活動を通して地域振興・まちづくりなどをテーマに発表されました。



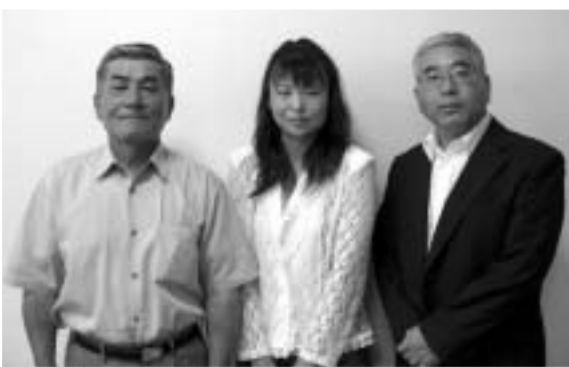
自衛官募集相談員

6月25日、神崎市役所で自衛隊佐賀地方協力本部長と神崎市長から自衛官募集相談員として次の3人が委嘱されました。

相談員は、安定した入隊者の確保と募集基盤の育成のために、志願者に関する情報の提供、地方協力本部の行う募集のための広報に対する援助を行います。

▼写真右より

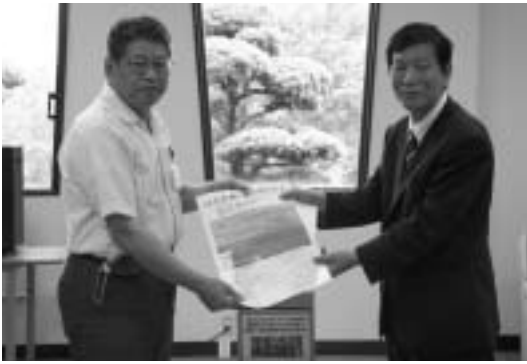
末次國次さん（千代田町）
小串梅子さん（脊振町）
朝日 弘さん（神埼町）



不要な入れ歯をリサイクル

7月11日、NPO法人日本入れ歯リサイクル協会（埼玉県、三好勇夫代表）より入れ歯回収ボックスが設置されました。

入れ歯には、クラスプ（金属のバネ）がついており、その金属には、金や銀、パラジウムなどの貴重な貴金属が含まれています。不要となった入れ歯の多くはそのまま捨てられているのが現状です。リサイクル協会では、捨てられるものを利用して何かできないかと不要となった入れ歯を回収、リサイクルし、その益金を財団法人日本ユニセフ協会などに寄付する活動を



神埼市への回収ボックス設置は、千葉県鎌ヶ谷市に次いで全国で2番目、九州では初めてです。回収された入れ歯の益金は、ユニセフや神埼市社会福祉協議会に寄付されます。

市内では、次の2カ所に設置しています。

- 神埼市役所 本庁南新館
- 千代田総合支所



※金属のついていない入れ歯は回収の対象となっていない入れ歯は

◆不要になった入れ歯を回収ボックスに寄付する方法

- ①汚れを落とし、熱湯か入れ歯洗浄剤(除菌タイプ)で消毒をしてください。
- ②備え付けのビニール袋に入れて回収ボックスに入れてください。

保育園建設工事へ向け安全祈願

6月27日、千代田町境原で神埼市立（仮称）千代田保育園建設工事の安全祈願祭がありました。

式典には、神崎市、市議会、地元区長、建設関係者などが出席し、工事の安全を祈願しました。

保育園の完成は、12月25日、供用開始は、1月末を予定しています。



豆力士、日ごろの練習の成果を発揮

7月15日に榎田宮相撲場（神埼町）で佐賀新聞社主催のJ A杯第22回児童オリンピック相撲大会が行われ、県内から、団体戦に19チーム、個人戦に180人が出場し、熱戦が繰り広げられました。

団体戦では、残念ながら入賞は逃しましたが、個人戦では、千代田東部小2年の家永孝紀くん（写真右）が2位、千代田東部小4年の江原弘樹くん（写真左）が3位と健闘し、9月9日に鹿児島県で行われる九州大会へ出場します。



西九州大学軟式野球全国大会出場

九州学生軟式野球連盟春季リーグで、西九州大学軟式野球部が優勝し、全国大会へ出場します。

全国大会は8月19日から22日まで愛知県豊田市運動公園野球場で行われ、全日本学生軟式野球連盟の代表11大学とトーナメント戦で戦います。

全員のチームワークと日々の練習成果を十分に発揮されることを期待します。



良質米願って

「御田植式」



6月30日、神崎市良質米生産対策協議会より本年度指定された良質米（品種・ヒノヒカリ）生産モデルほ場（千代田町高志地区）での良質米の収穫を願った御田植式が行われました。

神事の後、地元の千代田中部小学校の児童約20人、高志集落の皆さんの参加による田植えとなりました。

この事業では、古賀安行さん夫妻（千代田町高志）が良質米の生産モデルとして田植えから稲刈りまで、県の特別栽培の基準に基づき徹底した管理により栽培され、10月上旬には、「抜き穂式」を行い収穫される予定です。

自分たちで作った苗で田植え体験

神崎小学校の5年生が、総合的な学習（「オンラインワン」）のさが体験活動支援事業で農協青壮年部の協力のもと、米作りの体験学習を行っています。

6月29日には、春先に自分たちで種を撒いて育てた苗床をもって実習田へ行き、田植えの体験学習を行いました。子どもたちは、「きもちいい」「ぬるぬるしている」など歓声を上げながら田んぼの中に入り、農協青壮年部の指導を受けながら、子どもたちは真剣に田植えに取り組んでいました。収穫は、10月の予定です。



別の田んぼでは、「田んぼドリブンピック」も行われ、全身泥まみれになっ

た子どもたちもまた姿もありました。



季節はずれのつくし 見つけたよ

7月5日、仁比山保育園の子どもたちが、梅雨の合間のお散歩でつくしを見つけました。この日は、城原川を渡っていつもより少し遠出をし、たまたまひと休みをした桜の木の下の根元に2本のつくしがひょっこり。

季節はずれのつくしは、園に持ち帰りみんなで観察しました。



願いをこめて 七夕まつり

7月6日、仁比山保育園で七夕会がありました。「ほいくえんのせんせいになりたい」「ピアニカがじょうずにやりたい」など願い事を書いた短冊をみんなで笹の葉に飾りつけました。

自分で行うことができる小さい子どもたちには、年長さんがお手伝いをする

などほほえましく感じられる姿が見られました。飾りつけの後、サロン室に集まり、年長さんのピアノ演奏、パネルシアターでの七夕のお話、歌、会食など楽しい一日を過ごしました。



今年もアジサイがきれいに咲きました

脊振町白木地区（久保山）には、約5,000本のアジサイが道路沿いや丘など広範囲に植えられています。

このアジサイは、地元の方々が何年もかけて管理されたもので、今年もきれいな花が咲きました。見ごろは梅雨の真っ盛りの6月下旬から7月上旬でした。花の終わった後には、せん定作業を行い、来年の花の時期に備えます。

